



名取武一議員

## 生ごみの分別収集・堆肥化を

### 来年度より実験的に始めたい

質問・・・ここ数年、可燃ごみの搬出量が微増している一方、資源物の収集が減っているが。

町長・・・町民の皆さんは、資源物の17種類分別に努力されているが、紙類の収集量が減っている。さらなる啓発が必要か検討したい。

質問・・・生ごみを分別収集し、堆肥化を。

町長・・・木曽広域連合の例をもとに、来年度よりモデル地区を選んで、実験的に進めたい。堆肥化はコストがかかると聞いているので、コスト増と

減量化のバランスを検討したい。

### ■エデュ・カフェなどに ついて

質問・・・エデュ・カフェ、PTA教育フォーラム等で保護者から寄せられた声を、行政にどう反映しようとしているか。

教育長・・・エデュ・カフェの参加者は、一部を除き激減しており、検討課題である。

寄せられたご意見は、ホームページ、教育委員会だよりにその都度紹介し、1月号では総括的特集も組んでいる。

一番多く出されているのは、携帯・スマホの問題。親、学校の先生もついていけない深刻な問題がある。生涯学習課で、講演会・教室を開き啓発を進めたい。

学習障害、多動性障害といわれる子どもは、特別支援学級にも入れない状況。来年度は通級指導

学級を富士見小学校に設置することを県に要望している。

### ■防災対策について

質問・・・町の防災訓練、台風18号による町内の被害、台風26号による大島町の被害、入笠山荘火災等から、今後の対策は。

町長・・・3・11以降、ハード面で思い切った対策をとっており、めどが付きつつある。ソフト面としては、実質的訓練に力を入れている。

質問・・・大島町の災害では、気象庁の情報が町の担当者に伝わらず、人災との意見もあるが。

総務課長・・・当町の場合、メールは総務課、宿直警備員、担当者の携帯に届くようになっている。また、町内に雨量計が10箇所あり、時間降雨量が40ミリになると、対策をとる。

□その他の質問  
＊無料塾について



小林市子議員

## 歯を大切に 8020運動達成を目指す 考え方は

### 県の補助事業に 合わせ、勧奨していく

質問・・・歯の検診は、全身の病気の早期発見・早期治療につながるから、医療費を抑える効果があると言われている。

町内の虫歯受診率は県と同じ位であるのに、歯肉炎、歯周疾患受診率は12%と国・県よりも2%近く上回っており、かなり重症になってから受診する傾向にあると言つ。

町では予防歯科検診を、どのように考えているのか。

町長・・・特定健診については補助金等で手当てしているが、歯の検診については、まだ国の法律が決まっていないので、決まったらやる。

質問・・・すでに岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町では、20歳から70歳までの年齢層で10年または5年間隔で予防歯科検診が実施されており、受診費用は200円から500円を徴収している。受診実績はまだ少なめであるので、富士見町では、先駆的に無料で始め、受診しやすくしたらどうか。

町長・・・他市町で実施している20歳から70歳の歯科検診は、県の補助事業を活用しているので、当町でもこの事業を活用し、自己負担をできるだけ減らす方向で実施に向け考えていく。

### ■まちづくり観光事業 について

質問・・・この町の観光資源とは何を指し、何を売り物として考えているのか。

東京農工大学大学院の中島准教授の農村観光地でのアンケート調査では、「地元の人とのふれあい」が多くの観光客の楽しみや喜びにつながっているという回答が多かった。富士見町が目指す観光事業計画は、埋もれている資源を掘り起こし、地域活性化を伴う地域住民を巻き込んだ農業振興、観光振興を基本とすべきでは。

町長・・・観光の強化を図ることは、町が経済力をつけるため、入笠方面・八ヶ岳方面・第3のシナリオの三本柱でやっている。観光客は、目的を持って来ており、町民との関わり合いを持つことを求めているわけではない。各施設でのおもてなし教育の質を上げていく。